

● 2008年
2月10日(日)
AM / PM

分科会の名称

全国29国立公園の中の尾瀬国立公園
～尾瀬の魅力を探す旅～

● 場所 第1研修室
● 参加者 29人

● 実施者
藤田道男さん
櫻庭佑輔さん



西暦	出来事
1872	初めての国立公園「イエローストーン」(アメリカ) 「国の楽しみ方だけではなく国全体で共有しよう」 (情報が日本に伝わり、国立公園先駆活動、活性化)
1911 (明治44)	日光を国立公園へと、地元西議会が国会提出 《『国民的世論向上』》 → 却下される
1931 (昭和6)	国立公園法制定 ※自然の風景地の保護・利用が目的 《昭和20年代》 自然の大風景地、利用の利便性に配慮、(全国的分布バランス等も)
1949 (昭和24)	尾瀬保存期成同盟 制定成立 《昭和30年代》 指定地域拡大、拡張が行われる 《昭和40年代》 海中公園地区制度 創設
1971	環境庁(当時) 設立 《昭和50年代》 創設をはじめ、湿原の価値が評価される
2007	尾瀬国立公園として日光国立公園より分離、独立

第1部
『国立公園の歴史と尾瀬』

● 歴史の中でさまざまな取り組み
● 尾瀬保存期成同盟
● 尾瀬の自然を守る「マイカー規制」等

☆尾瀬ビジョン(今後)

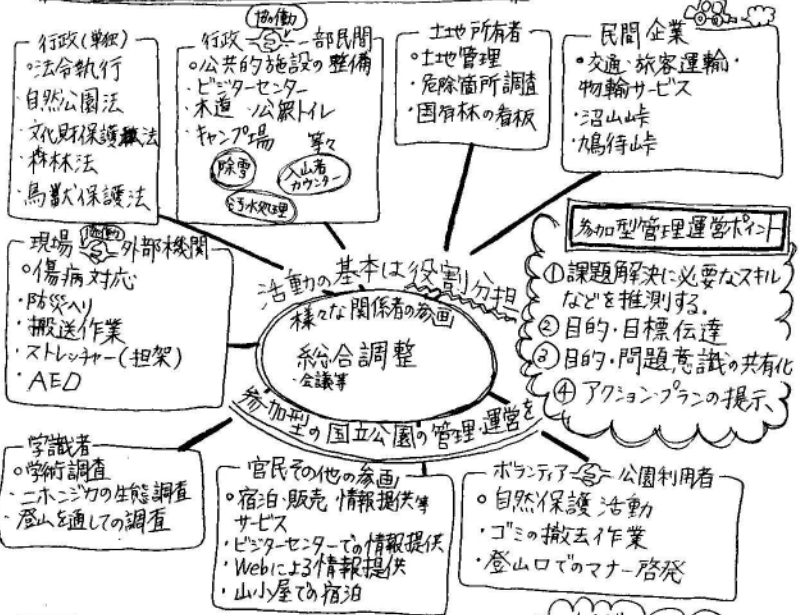
日光国立公園から尾瀬国立公園の分離、独立により、様々な効果が期待できる。

- ① 自然環境保全上の効果
- ② ふれあい体験の場としての質の向上
- ③ 地域振興、活性化

第2部
『みんなを守りみんなを楽しむ尾瀬国立公園』
～そこに関係する人・組織・仕事の話～

様々な人たちが関わる尾瀬
行政・公的サービス機関・事業者・土地所有者・地域住民・ボランティア・公益組織・学識経験者・公園利用者……

公園の管理・運営には多くの方が関わっています



第3部
『環境省・尾瀬レンジャー(自然保護官)の業務』

《レンジャーの業務》
● 国立公園の風景景観を守るため、法律に基づいて
諸認可審査。
● 優れた自然の風景の保護と利用の増進を図り、
国民の保健・休養及び教化に資する。

みんなの尾瀬をみんなが楽しみみんなを守る

レンジャーとは?
● 環境省職員
● 日本全国の国立公園(29あり)
等に活躍
● 全国に約260名(夏期間にのみ増)
デスクワーク長時間!!

レンジャーは、尾瀬の「河」も「屋」さんです。

尾瀬ビジョンに基づき、日光国立公園から分離、独立した。

① デスクワークに連れ、現場に出る機会が少ない。知名度も低い。
② 尾瀬に関わる多くの人の調整現場に近い!! 発見が早い!!

レポート: ちほりん (岡田千穂)